

令和7年4月1日

(一財)みやぎ建設
総合センター

仙台市青葉区支倉町
2-48

お問合せ・ご意見は
センターまで

TEL 022(266)3355

FAX 022(266)3303

E-mail: info@
miyakencenter.or.jp

URL: http://www.
miyakencenter.or.jp

入札・契約

直轄土木の積算基準改定・移動
・回送を歩掛かり反映(国交省)

国交省は25年度の直轄土木工
事に適用する新しい積算基準を
公表した。

時間外労働の罰則付き上限規
制の適用を背景に、現場移動な
どで実作業時間が短くなってい
る実態が分かった路上工事と仮
設工事の10工種で歩掛かりを改
定。

移動式クレーンを毎日回送す
る必要がある1工種でも、回送
時間を歩掛かりに反映させた。

大規模災害の被災地で適用し
ている「復興係数」「復興歩掛
かり」は現行の補正率を当面は
据え置く。

直轄土木工事―完全週休2日展
開へ積算基準改定、熱中症対策
費は別枠確保 (国交省)

国交省は直轄土木工事で、土
日休みの完全週休2日に対応し
た労務費や経費の補正係数を新
設し25年度から適用する。

夏場の熱中症予防の徹底に必
要な対策費を十分に確保可能と
する措置も講じる。

共通仮設費の中で率計上して
いる「現場環境改善費」から避
暑・避寒対策費を切り離し、現
場環境に応じた対策費を積み上げ
計上できるようにする。

技術提案評価S I型の試行実施
要領案まとめる、配点や費用の
考え方提示 (国交省)

国交省は直轄工事で25年度か
ら試行する総合評価方式の新タ
イプ「技術提案評価型(S I型)」
の実施要領を固めた。

S I型ではVFM(バリュー
・フォー・マネー)の考え方に
基づき、仕様や工法の変更で安
全性や生産性、品質の向上など
が期待できる事項について「技
術向上提案」を求める。

技術向上提案の評価点は当面、
現行のS型で技術提案に充てて
いる配点の合計の2分の1から
3分の1のウェイトで設定する。
S I型は、S型で発注する工

その他

遠隔施工を通常工事に拡大へ、試
行要領案を年度内作成(国交省)

国交省は、災害復旧で先行的
に活用されてきた遠隔施工の通
常工事への導入拡大を図る。

発注・監督・検査などの基準
要領類の作成に着手し、試行要
領案などを本年度内を目標に作
成する。

25年度以降、各地方整備局の
技術事務所などで保有している
遠隔施工に対応した建設機械の
貸与を想定した積算基準の作成
にも取り掛かる。

25年度の建設業振興事業―IC
Tなど経費を補助 (宮城県)

宮城県は3年目となる「地域
建設産業災害対応力強化支援事
業」を25年度も実施することと
し、事業費として3,000万
円を計上した。

地域の守り手として活躍する
地元企業に期待し、災害復旧活
動に必要な資機材の購入費を補
助する。

同支援事業にはハード的な経
費を補助する「I型」と、ソフ
ト的な経費を補助する「II型」
がある。

過年度の補助対象では、I型
で3Dスキャナやドローンなど
の購入費を補助した。

II型では、技術者の資格取得
に係る研修費や、防災に関する
社内講習会の開催経費などを補
助した。

9年ぶりに100人割れ 新規
採用数は8人減の96人(宮建協)

宮建協の会員企業が新規採用
する今年3月の学卒者は96人で、
前年に比べて7.7%(8人)
減少することが分かった。

採用人数が100人を下回る
のは16年以来9年ぶり。
内訳は事務系が14人、技術系
が82人で、求人に対する採用の
割合(採用率)は33.7%と前
年度を6.3P下回った。

学歴別では、大卒35人、短大
・専門学校卒13人、高卒48人。
支部別では仙台61人、石巻17人、

大崎9人、仙南と登米が各2人、
栗原と気仙沼が各1人だった。

CCUS新年度計画にシステム
更新など位置付け(振興基金ら)

国交省、振興基金、建設産業
関係団体で構成するCCUS運
営協議会は、25年度事業計画に、
「システム更新」など五つの重
点項目を位置付けた。

また、CCUSの標準API
を使ったAPI連携認定システ
ムなどに対し、CCUS登録デー
タ(技能者基本情報、事業者情
報)を提供する取り組みを25年
度に始める。

主な動き

▼安衛法・作環法改正案―災害
報告制度を創設、一人親方も保
護対象へ (政府)

▼入札段階で労務費内訳調査、
ダンピング対策強化へ(国交省)
▼増額変更の適正性チェック導入、
直轄本官工事で試行(国交省)

▼ICT施工の出来形管理要領ス
リム化―4月から適用(国交省)
▼監理技術者登用の若手・女性
拡大へ入契改善で対応(国交省)

▼道路橋示方書改定案―性能規
定化を充実(国交省)

▼自治体の道路除雪支援―過去
最大5.7億を追加配分(国交省)
▼インフラメンテの新技术活用、
自治体支援体制を構築(国交省)

▼道路陥没対策で道路と地下イ
ンフラを一体的に管理―都道府
県ごとに連絡会議設置(国交省)

▼効率的な建設工事促進事業―
モデル30件の事例集作成(国交省)
▼25年度経費受付―事前予約が
入力フォームに変更(宮城県)

▼第4期建設産業振興プラン―地
元企業の安定経営を重視(宮城県)
▼CCUS技能者登録と能力評価
の同時申請受付開始(振興基金)

お知らせ

令和7年度新入社員研修
4月2日・3日 宮城県建設産業会館
E E東北25
6月4日・5日 夢メッセみやぎ

監理技術者講習

4日・9日・12日・15日・25日
2日 宮城県建設産業会館
16日 宮建協石巻支部
16日 大崎建設産業会館
16日 仙南建設会館